









人が親の愛を受けて  
生まれるように



彼らは人の悪意に  
より生まれる



罪を理解させるものとして



恐怖の象徴として

人の勇氣に  
討ち滅ぼされるモノとして



たとえ人の為に生まれたモノだとしても  
彼らにとっては悪意そのものだろう



彼らに幸せな未来など与えられもしない

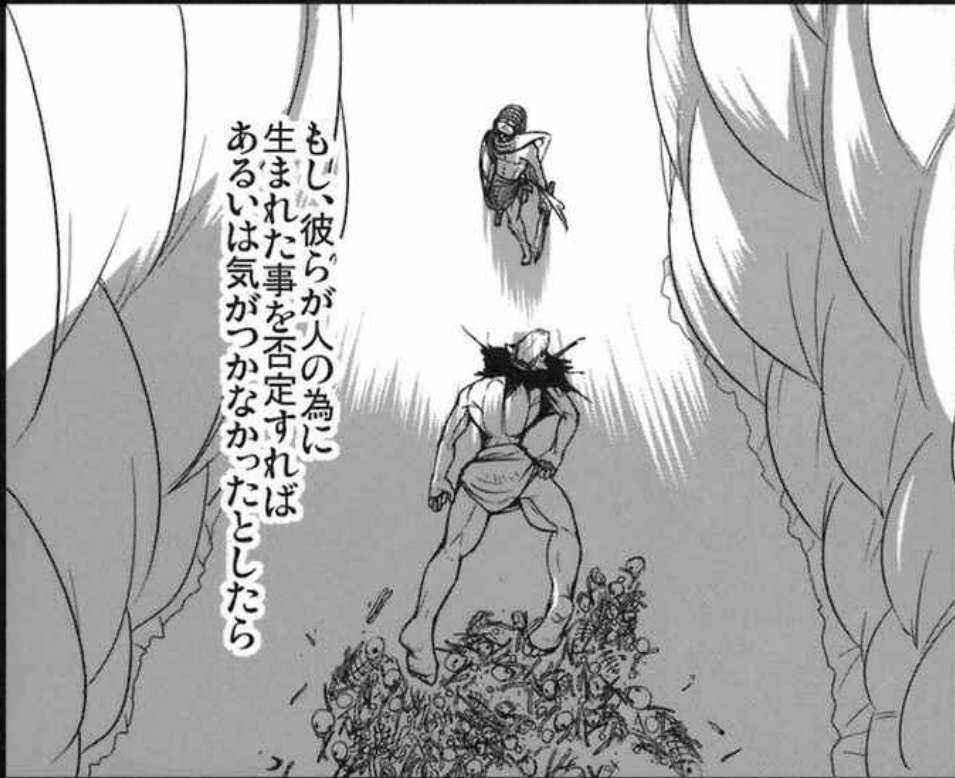


彼らが誕生する過去は常に悲惨で



人の為に生まれた彼らは

人が滅びた後どうなるのか



もし、彼らが人の為に  
生まれた事を否定すれば  
あるいは気がつかなかったら

考える事は一つ

「何の為に生まれたのか？」



「何の為に生まれたのか」

本能のひとつに答えを見出すモノ

やはり人間の為、に辿り着くモノ

そうした「思考停止」が  
可能なモノは恵まれている

思考まで丁寧に作られるほど  
人の空想は繊細ではない

不器用な彼らの  
停止しない思考は  
やがて死を望む

耐えられない

もう

不明に耐えられない

早く

滅ぼしてくれ!



「何の為に生まれたのか」

彼女の思考停止は、  
思考停止の出来ない悲劇を  
滅ぼす事



人の為に生まれたモノの為に！！

空想の空想、悪意の悪意  
彼女は正に概念の妖怪

亀裂の向こうの深淵に愛された、名も無き救済者。








直に殺してしまっても良い

けれど

彼女が生を苦しんでいる  
ようには見えないから

しばらく様子を見て、彼女の事を  
理解してから判断しても遅くはない



死を望む空想をただ殺すだけの  
私では、きっと永遠にキュウビに届かない

あれから、多くのヒトガタを観察してきた。  
それぞれが持つ強さを取り込む事で  
私はキュウビを超える



先天的な能力ではなく

私自身の力で得た強さで…  
キユウビを超える

貴方には色々助けられ  
ちゃってるね

初めて会った時から  
殺されかけた私を助けて  
くれたんだもの  
とっても感謝してるわ

貴方の様に美しい方が  
下衆な人間に汚されるのはつまらない

私は私のしたい事をしてるだけです

あはっ、変な理由

そんなんじゃないよ  
胡散臭い奴って言われるでしょ

あ、おじいちゃんが近づいてるから  
ちょっと隠れてるね

輝夜、大伴大納言さまがお越しだ

えー？

ただの人間が空想の懐から  
宝を採ってこれるわけじゃないじゃん  
またニセモノでしょ

…また、言葉の間違えたかな…  
人間を知るため極力人間らしく  
振舞っているつもりなのに…

いや、竜の顎の玉は手に入らんかったらしい  
それでも輝夜の事を諦められんそうじゃ

うわーもう…約束を守らないと  
世間の評判が悪くなるよって伝えて

ごめんね、おじいちゃんも大変だよ

そりゃさ、私のような美人は  
滅多にいないんだらうけど…

一人にそんな必死に  
なるものかなあ

しかも私なんてずっと家に  
籠ってるんだから、人柄とか…  
本当に綺麗なのかすら  
実際に確認出来ないじゃない

この時代の人間は  
そういうものです



うーん  
でも  
私は面白くないわ

社会的地位に直結する  
重要な要素でもありますから



見栄を張るのに必死なのね  
本当にかっこ悪い



女性に求められるものは  
気立てより評判

なによそれー  
私自身はどうでもいいって事かあ



貴方は？

私の事どう思う？

可愛い？

好き？



ふうん？

つか被衣で顔隠すの  
やめようよっなんか不公平じゃない

とっちやえー

うわ



ええ、私のような者に  
気さくに接して頂ける貴方には  
大変好感が持てます





…そうですね

でも、今はどうせ姿自体見られたら  
面倒なんだから、隠しても  
隠さなくても一緒じゃない？



うおっ！  
金髪さんだ！

皆黒髪だもんねえ  
変な目で見られたり  
するんだ



楽しそうに振舞ったり  
時に落ち込んで  
みせたりするけど

その内心は虚無—  
無味無色な感情が  
容易に見とれる

生を厭う様を  
見せないというより…  
それすら飽きているようね



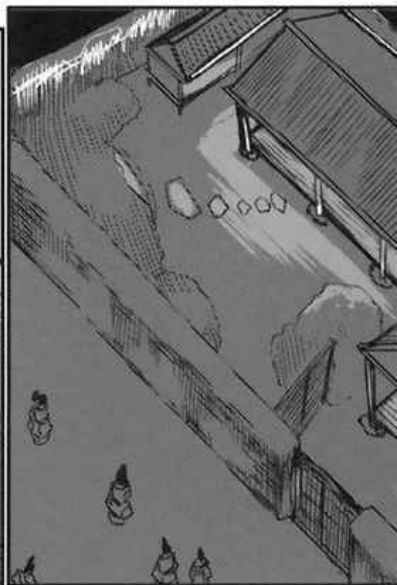
痛っ！

うっっ…

あと…少しだっ…



カッ



はあっ

はあっ



カッ







やっぱりお前だったのか…!  
私を馬鹿にするなよっ!

ふふふ



あはっ、あははは



数年ぶりに  
そう呼ばれたな

一万人ぐらいまでは  
数えてたっけ

『仇』かあ

人の上に立つ  
ただそれだけで人の恨みを買う





なんで平気なんだ?!  
刺されたんだぞ、お前!!

私は、つまらない人間に  
傷つけられる貴方を  
見たくないだけです



…ちよっと、なんで助けられないのよう

な…何で…!?



ふーん

それなら  
期待しちゃうよ?



知っていたのは  
貴方の望みだけです

そう



私は、月の王の娘

本当なら、こんな青白く汚れた星の  
ヒトガタなんかにはタメ口きかされる  
筋合いじゃないのよ

私はその辺おらかだから  
特に注意もしないけど

あ、おじいちゃん達には  
内緒にしてるんだ

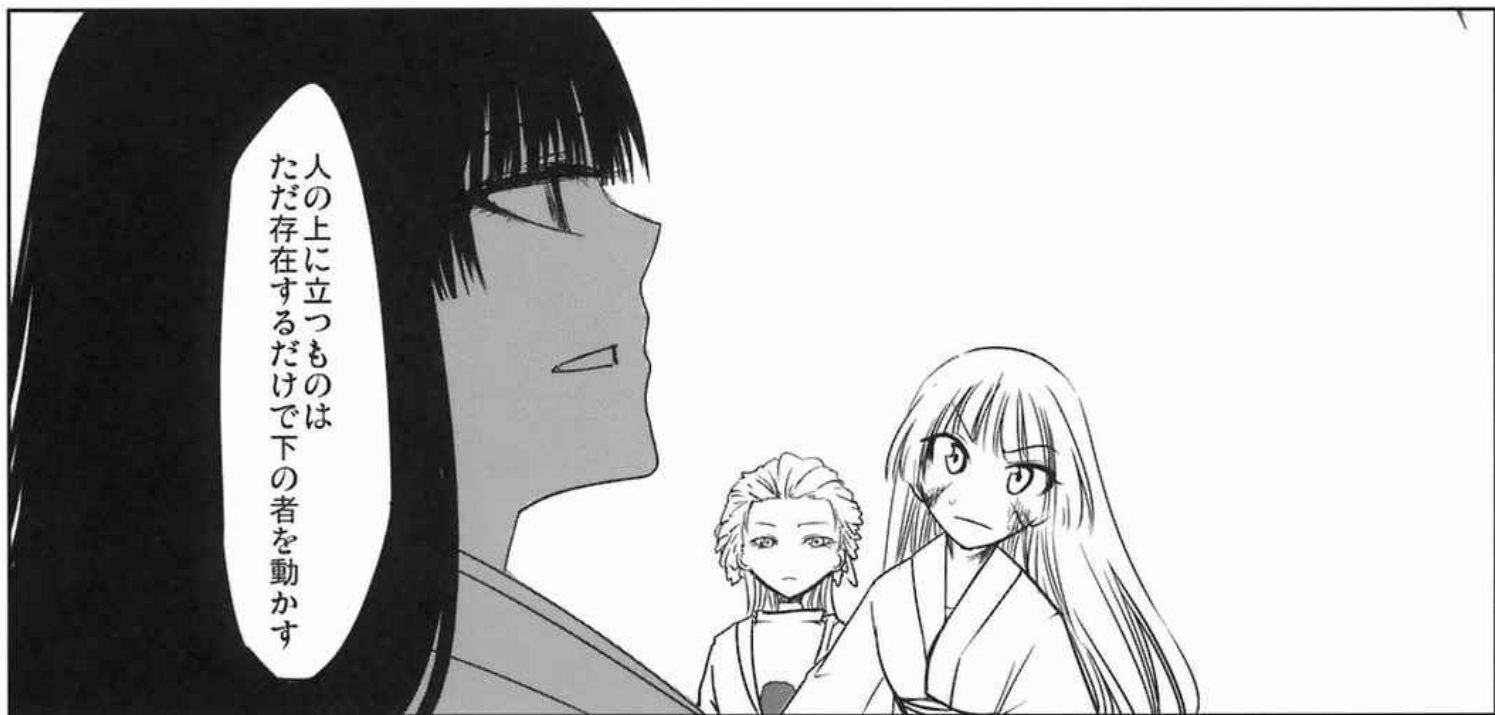


ほう…再生ですか?

不死よ不死  
しかもかなり都合の良い  
服も元通りだし

なんだ、ある程度私の正体を知ってて  
近づいてくれたのかと思ってたけど…

傷が治って…!?!  
お前、本当に人間なのか!?





月の民は違う

人間とは比べ物にならない  
寿命を持つ月の民は

死に近づく機会の多寡は比較にならない  
地位を持つものが天寿を全う出来る  
可能性は限りなく零

私の命も、誰かの恨みや野心に殺されて  
終わるのだと思っていた  
あっけなく殺されるか劇的に殺されるか

悔いを残すのか、私の死を嘆くものがあるのか  
苦しいのか心地よいのか、死の先には何かがあるのか

…いつ、死ぬるのか

だけど、死ねなかった  
どんな殺意も私の命に届かなかった

無数の死期を、あまりにも都合よく  
乗り越え続けていけば嫌でも理解できる  
私は死ねない運命にあるんだって事を

その後の世界はただ退屈なだけだった  
あらゆる経験は過去のループで  
それから解き放たれる事は無い

罰として堕とされたこの地も…  
少しだけ新鮮さが残っている分  
私にはこれ以上ない地よ

部下の一人に、私と同じ  
運命を持つ者がいたの

二人で運命に逆らおうって  
私は互いに互いを  
殺しあう事を提案した

そうしたら、彼女は別の  
もっと陰険で狂った提案を返した

運命が私達を  
不死にさせるのなら

この体も不死に  
変えてしまおう

不死を肯定する

運命を絶賛し  
神に感謝を

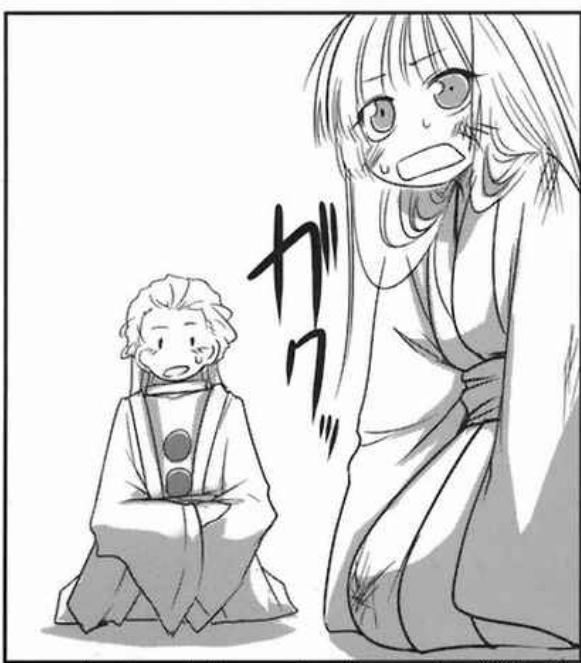
私達に永遠の退屈を  
与えてくれてありがとう

もう貴方の手を煩わせません

…ってな感じで

そしたらなんか  
皆に怒られちゃって！

罰だって事でこんな星で  
人生やりなおすハメに  
なっちゃったわけ



…どう？貴方の仇は  
普通の人間では  
無いのだけど



だっ…だからなんだ！  
お前が何者だろうと父の仇には変わり無い！

…虚勢でしょう

死で償えって言われても  
死ねないんだってば

あと、うるさい

おじいちゃん  
起きちゃった



父の無念はお前の死でしか  
購えないんだ！

…ちよつと出るから  
大人しくさせてて

はい

待てよっ！逃げるのかっ  
まだ話は

ふふっ  
ついでに水も汲んでくるわ





私達がこうして姫の部屋に  
忍び込んでいる事が  
人に気づかれると面倒でしょう

五人の好色が姫を諦めた今も  
まだ屋敷の周囲には人がいる

…あんたは、誰なんだ

貴方の同志よ  
ところで、体中の傷が  
痛むのではないかしら

こんなものっ、父上の  
心の傷に比べれば…

ひゃっ！

その生き物の触手が触れた傷は、たちどころに癒える  
…無理しないの、人間の体なんだから

あうっ

気持ち悪いっ！

離せって  
うきゃあっ！

ずいぶんと無茶な事を  
するのね、何も知らない  
子供なのに

侵入する際  
外の人間に見つかったら？  
輝夜姫を殺した後  
どうするつもりだったの？

…その勇気が羨ましい  
無謀と笑う者には生涯  
手に入らない行動力だ

妖怪の私でも、この娘のように  
なれるだろうか…





言葉通りの意味よ？

.....



何度も退屈しのぎに潰してみたわ

周りの反応が変わって  
それは新鮮だった  
もう飽きちゃったけど

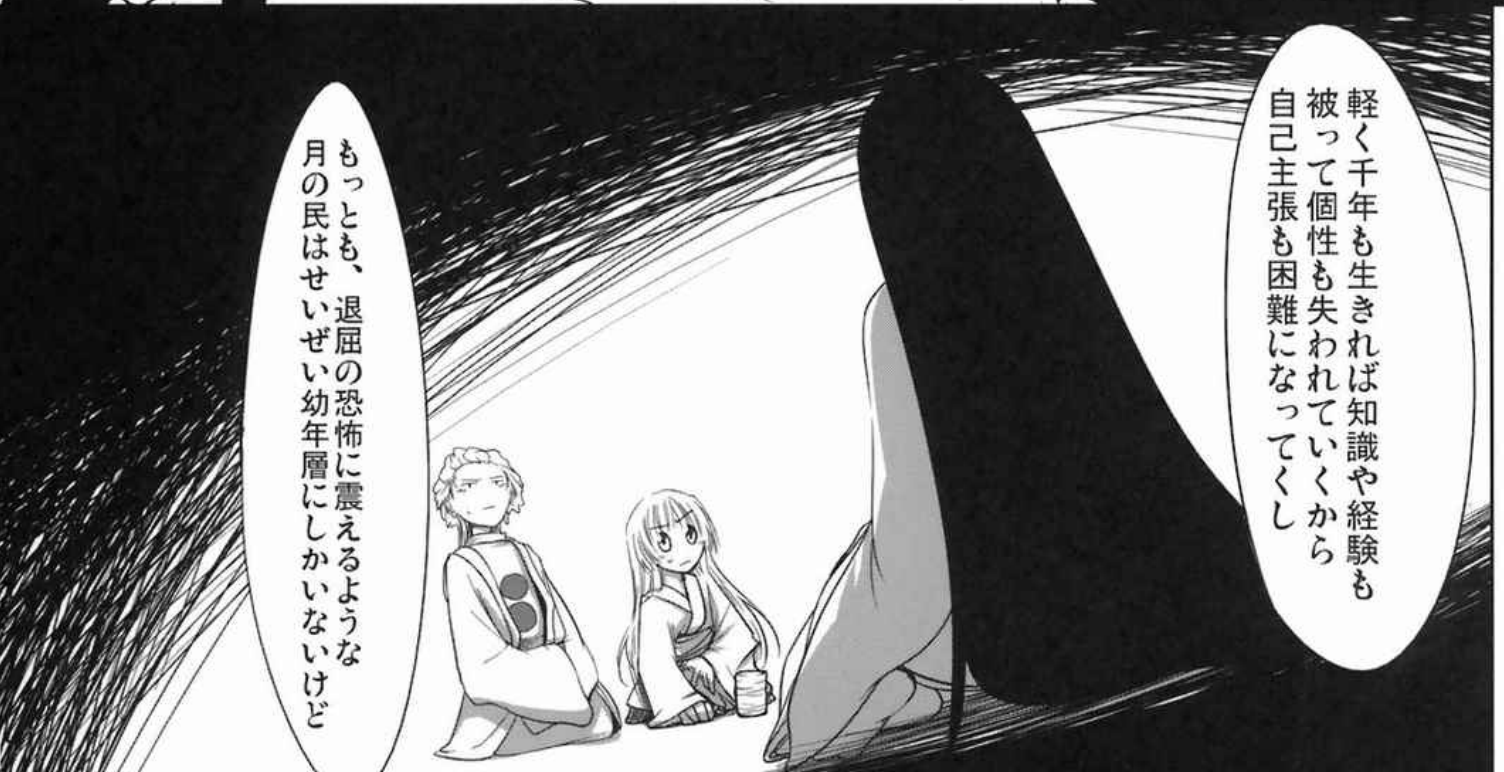
えっと、潰したって



お、倫理観の相違発見

月の民にとって、退屈は  
死を超える最高の恐怖なんだから

貴方達が引いちゃうような事を  
繰り返すのも当たり前じゃん？



軽く千年も生きれば知識や経験も  
被って個性も失われていくから  
自己主張も困難になってくし

もっとも、退屈の恐怖に震えるような  
月の民はせいぜい幼年層にしかないけど





私たち月の人間って、世界を作る要素に対して寿命が長すぎるのだから、下々の人間は人生に飽きたら勝手に互いを殺し合うのよ

倫理観の問題は宗教とかでなんとかして、ね  
それよりパートナーを探すのが面倒っていう程度だとか

出来れば他人同士で殺し合いたいものねえ  
飽きた愛情も死の間際となれば微かに沸くものでしょうし

ま、人間のように自殺因子でも組み込まれていればこんな苦勞もいらなただけどさ

私は地位的な理由で殺し合いも出来なかったしさっきも話したように、他人の殺意も利用できなかったから

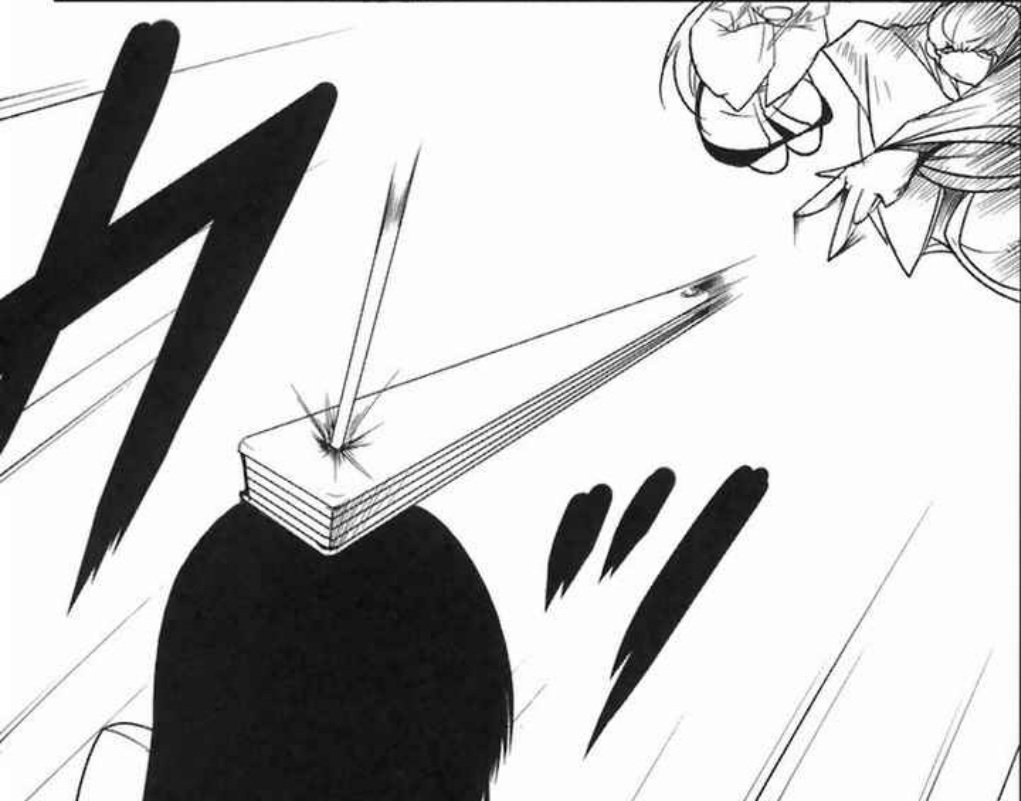
開き直って不死の体になり、こんな青白く汚れた星に落とされて…  
今更、不死になる前の私を殺せそうな生き物が見つかったって遅いのよね

「力」の方は、まず私を殺せない  
単純な強さは不死と相性が悪いもの

「死の匂い」の不思議な能力なら  
もしかしたら…と思うけど、それも曖昧な部分に期待しているだけ

なんだ、力とか死の匂いって…

逃げるな悪党







これが殺し屋の見本よ

相手の死角から  
音を立てずに狙う

失敗してるけど

貴方みたいに正面から堂々と  
しかも自己紹介しちやっつてから  
襲うなんて無いわ

私はこの屋敷から出ないから  
私を狙うならまず屋敷の構造から  
調べてきなさい

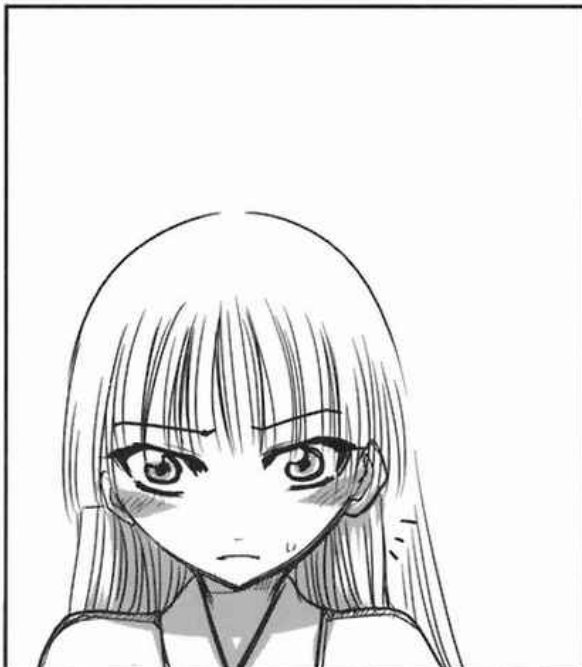
くっ…!



ところで貴方  
人を殺した経験はあるの？

無いよねえ

コレで練習してみたら？



縮んじゃってるの？

いいわ、私が案内するから




長寿、月の民  
そして、不老不死か



連れて行くから  
いつも通り処理お願いね


おっ…お前は最低だ！

静かにしてって  
二人とも寝てるんだから




理想郷に分類される国の殆どが  
抱えるテーマ、つまり：

人類が理想にしてきた力



人が残した世界最古の象徴である  
ウロボロスは、自らの身を食らう  
蛇の姿で表される不死の形


始まりも終わりも無いその姿を  
『完全』とも呼んだ：



…やはり滑稽だ

かつてその姿を笑ったら  
人性を疑われた事があったが

いざ不死を手に入れた輝夜姫は  
あんなにも虚無だというのに  
人はそれを追い求める




この地上で不老不死を求め  
それ故に身を滅ぼした人間がいた  
最高の地位を手にいれ  
あらゆる財を得た人間だった

限らない支配と永遠の栄華のために  
死への恐怖のために

心の隙に付け入った人間たちによって  
彼の栄光は終わった  
当然、不死など手に入れる事も出来ずに



限られた生をより良く使う事を求めれば  
彼の築いた国はより長く存続できただろう



死後に語り継がれる伝説も  
より美しいものになっただろう



…永遠を望む気持ち  
分らないわけでもない

キユウビと共に与えられた  
永遠なら、きつと…

まーだー？

う、うるさいっ！！  
どっか行ってる！！

そういうわけにはいかないよお  
おじいちゃん達に見つかつたらヤバイもん  
私とちゃんと見張ってないか

本当は、トイレに籠って  
私を殺す準備してるんじゃない？

言っとくけど、毒も効かないし  
全身灰にしても無駄よ  
海に沈めても別の場所でするだけだし  
本当に都合よく出来てるんだから



その口が自らの尾ではない  
別の何かを食らいたいと願った時









そんな姿では、まともに人付き合っても出来ないでしょう

白い髪に紅い瞳

そういえば、藤原不比等の娘だと言っていたわね



さぞかし、貴方の扱いに苦心しているのでは無いかしら？

…っていうか



その名の通り、やがては此の地の頂点にまで上り詰めるであろう男

もしも貴方の存在が世に知れたら彼の出世街道は破綻するでしょうね例えば不比等の血は魔物の血が混じってる…だとかあらぬ流聞が広まったりして

殺すわ

もしも私が  
同じ立場なら

貴方の存在を抹殺するだけで  
自分の急所を一つ潰せるのだから  
むしろ当然の行動ね

ま、そうは出来ないのが  
この地上の価値観なのかも  
しれないけど

ねえ、貴方、父親に愛された  
という記憶はある？

少しでも優しく  
された事はあった？

正面から話し合った事は？

その手を触れた事は？

もしかして…会った事も無いの？

くくっ…そうかそうか

貴方、飼い殺しにされているのね

そうよねえ、父親どころか  
人の目に触れる事すら  
許されないのでしょうか？

これまでも、そして、これからも  
一生、誰の中にも生きられないまま

何も変えられないまま  
いつの間にか消えて

命そのものを奪わないまでも  
社会からは既に抹殺済みというわけだ

不比等も必死ね  
自分と、そして自分の血が栄える為  
絶対に急所を突かれる  
わけにはいかないでしょうから





黙れっ！

例え父上が私を  
愛して下さらなくとも！

娘としての生活を  
頂けなくとも！

貴様を殺せば全てが変わる！

父上の無念を晴らす事が出来れば！  
きっと、必ず父上は私を褒めてくれる！

私を娘と認めてくれる！

私を……愛してくれるんだっ！

……

…無理よ、不死は死なないから不死なのよ？

貴方のような非力な生物が  
どうやって親の仇を取ると？

不死なんて馬鹿げた奴が  
本当にいるなら、それを殺す  
手段があってもおかしくはない！

私は必ずそれを見つけ出して  
殺す！お前を殺す！



貴方を愛してあげる

貴方を大切にしておあげる

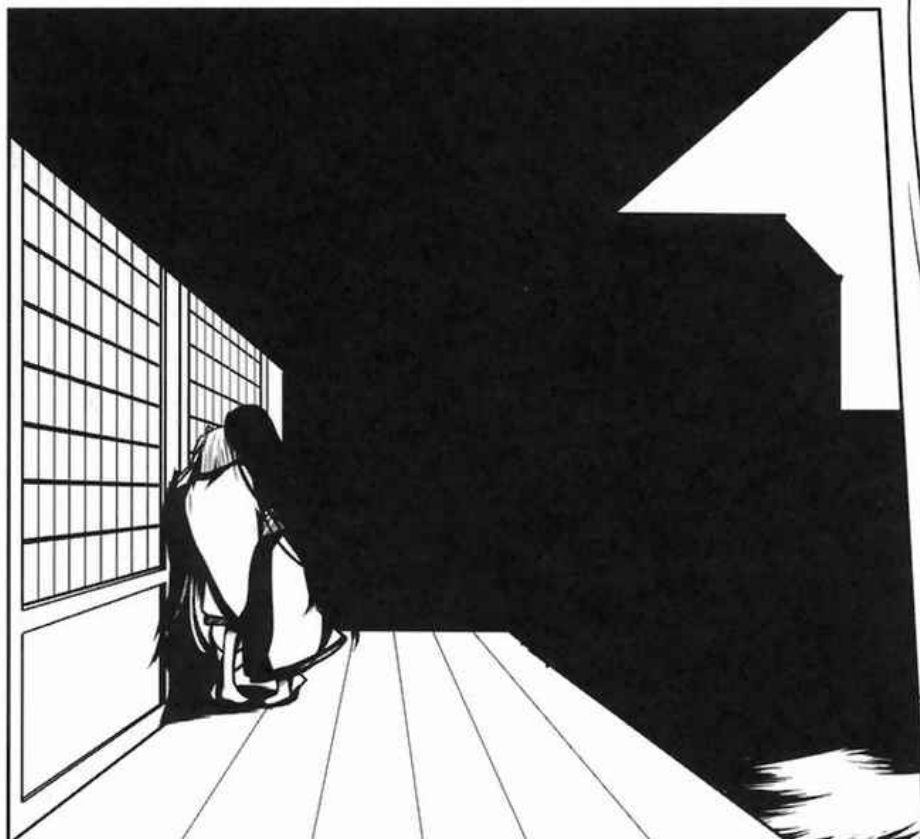
貴方の話を聞いてあげるわ

貴方を傷つけるものから  
守ってあげる

貴方が不安に怯えている時は  
ずっとそばにいてあげる…

…私じゃ駄目？  
私では、不平等の  
代わりにはなれない？

貴方が不平等に望むものを  
私なら全てあげられるのに







父上は、貴様という化け物に  
墮落させられたんだ

絶対に許さない



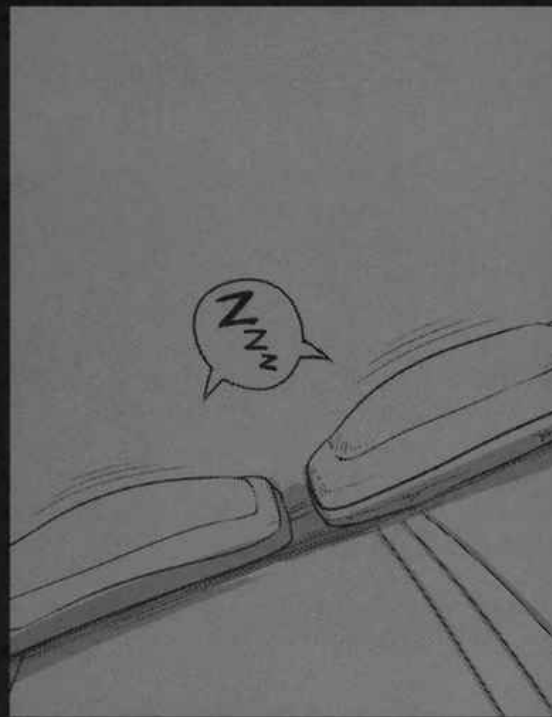
人の形をした化け物め



…この、悪魔め



この命の全てを使って  
必ずお前を殺す





突き飛ばされた体が痛い

…すきすきする



初めてよ、あんな娘

完結しちゃってる月の民にあんな濃厚な感情を持った子はいないもの



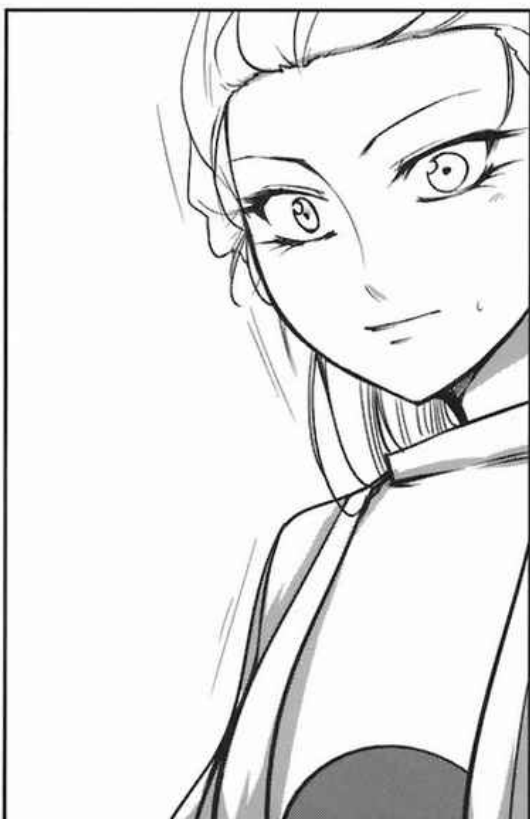


…それなら、あの娘の  
後見をお願いできないかしら



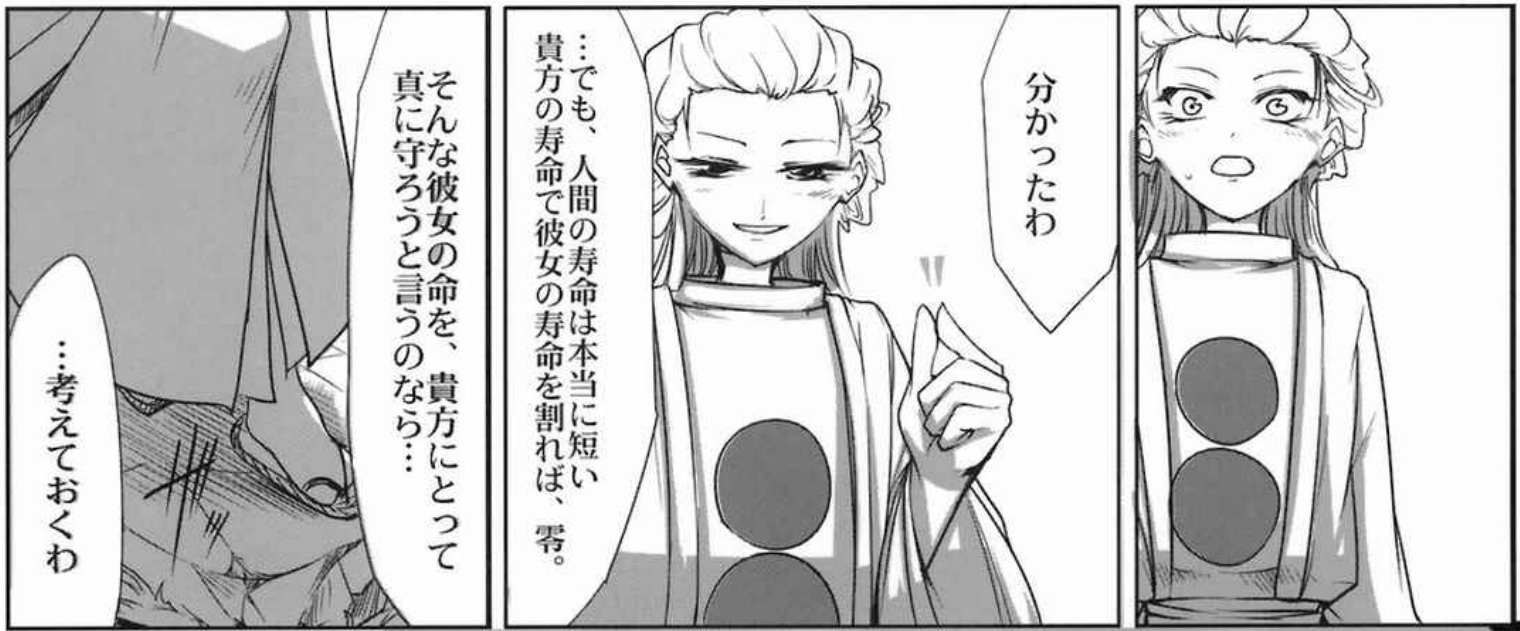
私も貴方の元を去ろうと思います

もう、貴方から  
死の匂いは感じられませんか



大丈夫、人はそう簡単には死なない

特に彼女のように  
行動力と意思のあるものは





もしも、彼女の為にこの星に留まる事を  
選択するのなら、移住するとい

永遠の命は人の世には居難い  
空想の集う彼の地ならば  
不死すら唯の個性になる



この星には各地域に  
『理想郷』と呼ばれる  
土地が存在する

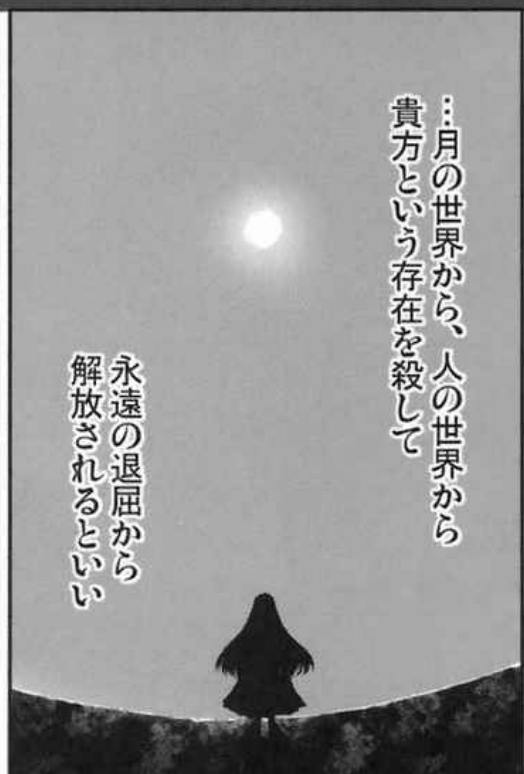
シャンドラ、エデン、  
桃源、アヴァロン…  
この地域には幻想郷



永遠に美しく咲き続ける花…  
人の理想を体現する貴方と  
共にいられた時間は  
とても有意義なものでした

それでは

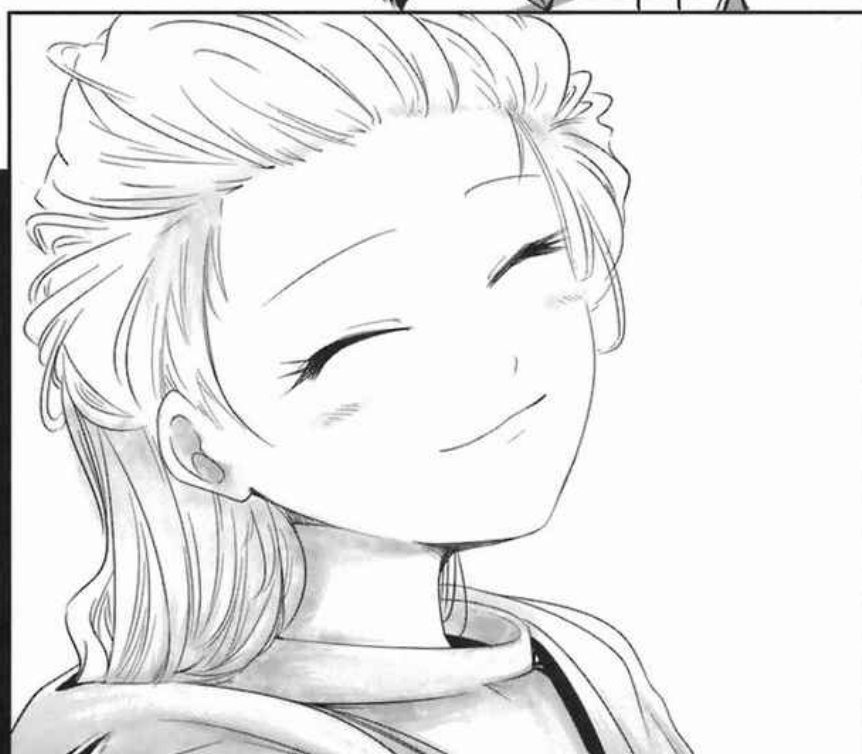
……



…月の世界から、人の世界から  
貴方という存在を殺して

永遠の退屈から  
解放されるといい





畜生っ!!

私が…この私がっ!  
たかが人間ごときにい…!

ものっつっつっつっつっつっつ  
油断していただけで  
戦つてすらねえつてのい…

こんなところに  
閉じ込めやがって!!

出しやがれっ  
クソがっ!!

これだから人間ってやつは…  
卑怯は美德ですってか?  
ふざけやがって…!

私は腕試しに、人間共は  
手前らの国の平和の為に…  
お互いの利益の為に  
妖怪退治に協力してやったら

妖怪退治が済んだとたん  
後ろから……!

お勤め、苦勞

があああああうう!!

あの人間っ!  
絶対ぶっ殺すっ!

はあっ

はあっ

……さて  
どーするか

実際大した封印だな  
解くのに数年は  
掛かるかもしれねえ

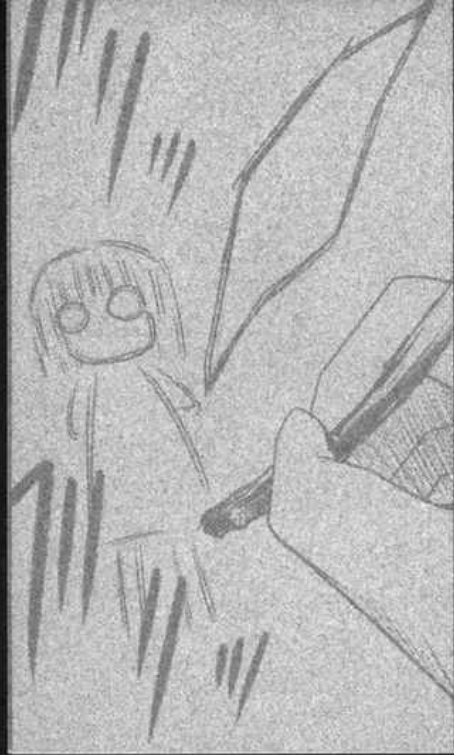
晴明って言ったか……

陰陽に

式神か

……





私の能力：そんなものでキュウビを支配しても  
キュウビの中の、本当の私は弱いままだ



今の私では、まだキュウビと  
向かいあえる力もない



私は他者の強さを知り  
それを取り込んでみせる

世界の全てを使つて  
孤高の大妖怪を超える

不死を相手にしてなお駭らない  
意志を持ったあの人間のよう

運命に抗い、人間の輝きに  
希望を得たあの姫のように



すっごーい！

なんかつよそのな  
妖怪がまっまってー！

わたしのほつがつよいけど！

なにこの9かな？

どうしてこの9かな？

あっ！  
あっ！  
いびく！

わたしもまぎてー！



待つてーっ！



さあ  
行きましょう

屈強なる  
幻想郷の幻想達よ



皆さんを月面征服ツアーへ  
ご招待します





